

「補助金等の見直しに関する提言書【H25 年度】」に対する H26 年度予算での市の対応状況

生駒市行政改革推進委員会では、平成 25 年度において、補助の効果、金額、補助の連続性や積算の根拠など、検証が必要と考えられる 27 件の補助金を抽出し、生駒市補助金制度に関する指針に則り検証を行い、平成 25 年 10 月に補助金等の見直しに関する提言を行った。今般、この提言内容に対する市の平成 26 年度予算への反映について、フォローアップを実施した。

委員会からの提言		H25提言に対する平成26年度予算(市の対応)				H25予算 (千円)	H26予算 (千円)	増減
		廃止	見直しを実施	見直しの 検討継続	現行どおり			
廃止	9	2	0	2	5	235,671	241,709	6,038
見直し	10	0	5	2	3	49,979	49,722	△ 257
継続	8	0	1	0	7	164,908	157,829	△ 7,079
計	27	2	6	4	15	450,558	449,260	△ 1,298

その結果、「補助金等の見直しに関する提言書【H25 年度】」において対象とした補助金の平成 26 年度予算額は、上表のとおり 449,260 千円となっており、平成 25 年度予算と比較すると 1,298 千円の減額にとどまっている。これは、本提言に基づき 8 件の補助金が「廃止」又は「見直し」されたことによる減額や、交付実績を踏まえた予算計上等により、計 9,818 千円の減額となったものの、「高齢者交通費助成金」が、交付対象者数の増加により 8,520 千円と大きく増額したことが要因である。

また、当委員会で「廃止」と提言した 9 件のうち、実際に廃止された補助金は 2 件のみであった。廃止にあたっては、庁内だけでなく関係団体等との調整や協議が必要であり、翌年度予算からの対応が困難なものがあることは理解できるが、提言内容を尊重し、廃止に向けた検討を進めてもらいたい。

一方で、8 件の補助金を「廃止」「見直し」できたのは、行政の努力に加え、補助金の廃止や減額について市民の理解、協力を得ることができた結果である。限られた人的・財政的資源をより効果的・効率的に配分するという観点に立ち、この見直しにより生じた財源を社会情勢や市民ニーズに合った新たな施策に有効活用することで、市民サービスの向上につなげることができるものと考えことから、今後も見直しの検討が継続されることを期待する。